

平成 28 年度 特定非営利活動に係る事業報告書

1 事業の成果

◆里山保全部門

* 管理場所グループ

毎月 2 回の定例活動を休みなく行い、以下のように里山とその周辺の保全に努めました。

- ・城址の管理 現状維持を心掛け最低限の管理にとどめる、枯れ枝の積込み、下草刈り、等
- ・みかん山 剪定、防虫、施肥、摘果、除草、収穫、植樹、オーナー制、等
- ・はす田 除草、切り花募金、枯れ茎の処理、等
- ・清掃 城址通りのごみ拾い、除草等、等
- ・田んぼ キシュウスズメノヒエの除草、等
- ・その他 他部門との合同活動協力

* 個別活動グループ

1. 里山農教室部会

- ・ 2 チーム内にサブチームを置くという変則 4 チーム制でスタートしたが、あまりうまく機能しませんでした。ただ、作業の効率はよく、定時までにはほとんどの作業を終えることができました。
- ・ 開始早々リーダーの休会というアクシデントに見舞われましたが、なんとか切り抜けることができました。
- ・ 里山農教室の開講は平均月 3 回、年間 30 回でした。

2. 特別コース部会

- ・ 12 名の会員が参加し、各自 10 m²の圃場で作付け計画をたて、課題に基づき有機栽培を行い、12 月に結果発表が行われました。遠藤先生のアドバイスをいただきながら有機栽培の技能を高めることができました。
- ・ 6 月には、茨城県阿見町にある「のらっくす農園」のバス見学会を行いました。農教室のメンバーを含め 34 名が参加し、高原先生から大変有意義なお話を聞くことができました。
- ・ 今年度、有機栽培認定証が 1 名に授与されました。11 月には、共通課題作物の里芋の品評会も行われました。
- ・ 2 月には小松崎先生の講演があり「健康な土づくり」について分かりやすい説明がありました。

3. ハーブ部会

- ・ 多種類のハーブの栽培に挑戦しました。
- ・ 我孫子市民活動メッセのイベントに参加して、ハーブ製品を展示・説明しました。
- ・ トラストのイベントで、サシェ、リース、ハーブソルト、七味唐辛子、月桂樹のリースなど多数販売しました。

4. 竹教室部会

- ・ 竹教室は、二期生の初年度でしたが、二作品目の課題が完成間近となっています。
- ・ 11 月には一期生と合同で那須まで竹の調達に行ってきました。

5. 養蜂部会

- ・ 年度当初は多数営巣しましたが、病気等で減少してしまいました。
- ・ 蜂蜜、蜜蝋製品等を製作し、会員に販売しましたが、多くの方々に満足いただける数量の確保には至りませんでした。
- ・ 蜂箱の周りの美化・清掃を年間をとおして行いました。

6. 野菜ソムリエ部会

- ・ 部会を 7 回行い、7 種の野菜のベジフルカルテを各自発表しました。これを元に会報にソムリエニュースを 6 回掲載しました。料理教室も 6 回行いました
- ・ しかし、仕事の都合や体調不良等により、部員が集合することが困難になり、残念なことに 1 月より休部となってしまいました。

◆遊休農地活用部門

* 遊休農地対応グループ

1. 船戸圃場部会

- ・5月にひまわりを播種し、7月に公開イベント「ひまわり迷路とクイズに挑戦！」を4日間開催しました。初日に関東地方が梅雨明けとなり、多くの市民が訪れ4日間で1,253名（大人771名、子供482名）の入場者となりました。そのほか写真撮影のみに来られた市民も多く、また今回は新郎新婦の撮影が3組もあり華やかな雰囲気となりました。
- ・受付では「手賀沼花火大会募金活動」も行い19,076円集まりました。
- ・ひまわりはイベント終了後も栽培を継続し、8月31日から2日間、種取りを行い、乾燥させた種173kgを11月に搾油して54kgの油が採れ、100cc瓶595本を得ました。
- ・ひまわり油瓶は、景観作物栽培作業および定例活動に携わった会員の方々に作業時間数に応じた本数を進呈しました。
- ・10月には菜の花を播種し、3月に公開イベント「菜の花畑散策と頭の体操」を4日間開催しました。4日間とも晴れでしたが風の強い日が多くありました。
- ・菜の花イベントには784名（大人554名、子供230名）の入場者があり、なぞなぞ問題で頭の体操をしながら、満開の菜の花畑の小路散策を楽しんでいただきました。その他歩道からの写真撮影者が多く来られました。
- ・菜の花イベント2日目の午後、白バイの警察官から会場周辺の道路に駐車させないよう注意されました。急きょ会場出入口付近の歩道植え込みに「駐車禁止と無料駐車場案内図」立て札を設置し対処しました。

2. 三角田圃部会

- ・5月に畝たてをしてヒマワリの種を播きました。小ぶりながらも咲きそろい、道行く人々の目を楽しませました。
- ・10月に菜花の種を播きました。ところが、芽が出たところに市の排水設備不良による冠水があり、9割がたが枯死してしまいました。
- ・船戸圃場と三角田圃の景観作物栽培は我孫子市の「手賀沼沿い農地活用補助金制度」の申請を行い実施しました。

3. 宮前沼圃場

- ・利用権設定手続きが完了するまでの間、地主さんの要請を受けて作業のお手伝いしました。
- ・6月にひまわりを播種し、8月に開花し市民に楽しんで頂きました。併せて会員対象の花の摘み取りを行いました。
ひまわりの背丈はあまり伸びず、また花も小さく今後の課題となりました。
- ・10月には菜の花を播種し、1月下旬から少しずつ開花して3月には満開となりました。
開花時期はほぼ船戸圃場と同じで、宮前沼圃場から西側を見ると手前の菜の花、その先に船戸圃場の菜の花が見えてとても良い景観でした。

4. 遊農チーム (GMT65)

- ・一昨年度末に発足した遊農チームについては、4度にわたる農業機械講習会、作業のたびの農機実習を実施しました。
- ・刈り払機・管理機・モア・トラクター、いずれの農機についても、女性も含めて、扱うことのできる人員が増えました。
- ・チーム員も増加し、トラスト会員以外の人も参加してくれています。
- ・GMT65（遊農チーム）の認知度もあがり、マスコミでも大きく取り上げられるようになりました。
- ・地元の農業者との連携・協働も拡大し、宮前田圃の耕作に当たっては、農機一切の提供と米作りのアドバイスを受けられるようになりました。

* 新規就農者支援グループ

- ・新規就農希望者が現れず、開店休業状態でした。

◆事務局部門

* 交流事業グループ

当グループは、会員相互、並びに一般市民との交流を図る目的で各種イベントを開催するとともに情報交換・情報の共有化を図る活動を展開しました。田植えから稲刈りまでの冬水田圃でのイベントは、手賀沼流域フォーラムの助成をうけました。

- ・ 5月の田植えと早苗饗には95名の人たちが参加しました。子供たちの参加も多く（17人）、泥だらけになって遊ぶ子供たちの歓声が田んぼに響きました。朝日新聞（佐藤記者）の取材があり、翌日の朝刊に載りました。早苗饗ではトン汁、お赤飯、お漬物などが振る舞われました。
- ・ 7月～8月にかけては「かかし祭り」が行われました。外部参加者のかかしも含めたくさんの案山子が並び、コンテストでは熱戦が繰り広げられました。
- ・ 11月のそば祭りは、85名の参加者でした。雨天で翌日に順延されたため参加者は少なめでしたが、美味しいソバがふるまわれました。
- ・ 12月の餅つき大会は82名が参加し、賑やかに1年の活動の締めを飾りました。
- ・ トラストサロンとしては、2月に三遊亭金太郎師匠の落語会、小松崎将一先生（本会顧問・茨城大教授）による『健康な土づくりを目指して（3）』の講演会が行われました。
- ・ 他団体との連携では、5月に柏市の市民活動フェスタ、9月に我孫子市民活動メッセ、2月に我孫子市消費生活展に出展し、遊農チームの活動紹介など、当会の活動のPRを行いました。

* 事務局グループ

会議運営・記録、会報発行、会計業務（年度予算、月次決算、現金出納業務等）、機械管理等の基礎業務をこなすとともに、以下の業務に取り組みました。

- ・ 会計担当者の体調不良により、6月から会計ソフトを導入し、事務局長が会計担当者を兼任しましたが、なんとか大過なく乗り切ることができました。
- ・ 「遊農チーム」の拡充、現物支給制の拡大（農教室のイレギュラーな作業への現物支給制の適用）など、組織増強策を推進しました。
- ・ メディアへ積極的に情報を発信しました。
- ・ 地域諸団体との積極的な交流をすすめ、柏市民フェスタ、我孫子市民活動メッセ、消費生活展に参加しました。
- ・ 市の「手賀沼沿い農用地等活用事業補助金」の申請及び補助金の受領、市農政課との緊密な連絡、交流をおこないました。
- ・ 活動中の安全管理・リスク管理を徹底し、JAの「特定農機具障害保険」に加入しました。

◆総括報告

- ・ 平成28年度は、遊農チーム（GMT65）の活動など、遊休農地への対応活動を着実に進めることができた年でした。遊農チームへの登録は、61名（うち正会員以外3名）になりました。
- ・ 前年度総会以後28名の退会者（正会員）がありましたが、新たに正会員29名が加入し、その結果、正会員155名（前年度154名）、顧問3名、賛助会員1名、協力会員（地権者）11名、協力会員（我孫子市民）43名、あわせて213名の会員となりました。メルマガ会員は51名に増加しました。
- ・ メディアの注目度も高く、トラストの活動が朝日新聞・定年時代などに取り上げられ、大きな反響を呼びました。
- ・ 安全面では、JAの「農業者賠償責任保険」に加入していたおかげで、ハンマーナイフモアによる飛び石事故（7月27日）に有効に対応できました。それ以外では大きな事故や怪我はありませんでした。
- ・ 理事をつとめていただいていた吉田明さんが、平成29年1月に逝去されました。また、創立以来の会員である金井準さんが3月にお亡くなりになりました。謹んでお悔やみ申し上げます。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従業者の人数	受益対象者の範囲及び人数	
里山保全部門	管理場所グループ	根戸城址部会(定例活動)	根戸城址通り 根戸城址	4名	会員(20名)	
		・根戸城址通り清掃				毎月第1、3日曜日
		・樹林地管理				
		花ハス部会	定例活動日、随時	ハス田	2名	会員(20名)
		ミカン山部会	定例活動日、随時	ミカン山	2名	会員(20名)
		冬水田圃部会	4月~10月	根戸新田	14名	会員・一般(100名)
		ソバ栽培部会	8月~11月	根戸新田	14名	会員(60名)
	個別活動グループ	養蜂部会	毎月第2土曜日、随時	根戸新田	2名	会員(20名)
		竹教室	毎月第4木曜日	根戸新田	2名	会員(5名)
		里山農教室部会	毎月3回 土曜日	根戸新田	14名	会員(80名)
		農教室特別コース部会	通年	根戸新田	2名	会員(12名)
		ハーブ部会	通年	根戸新田	2名	会員(14名)
		野菜ソムリエ部会	通年	根戸新田	2名	会員(10名)
	遊休農地活用部門	遊休農地対応グループ	・ひまわり栽培	5月~7月	船戸圃場	4名
・ひまわりイベント (迷路とクイズに挑戦)			7月28~31日	船戸圃場	4名	会員・一般(1253名)
・ひまわり種採取			8月	日暮会場	4名	会員(23名)
・菜の花栽培			10月~3月	船戸圃場	4名	会員(100名)
・菜の花イベント (菜の花畑散策と頭の体操)			3月17~20日	船戸圃場	4名	会員・一般(784名)
・ひまわり栽培			6月~9月	三角田圃	4名	会員(100名)
・菜の花栽培			10月~3月	三角田圃	4名	会員(100名)
新規就農者支援グループ		新規就農者支援	4月~3月	根戸新田	2名	会員(2名)
事務局部門	交流グループ	田植え・早苗饗	5月21日	根戸新田	14名	会員・一般(95名)
		かかし祭り(制作)	7月16日	日暮会場	10名	会員・一般(36名)
		かかし祭り(コンテスト)	8月27日	根戸新田	15名	会員・一般(52名)
		我孫子市民活動メッセ	9月24日、25日	けやきプラザ	12名	会員・一般(多数)
		そば祭り	11月20日	日暮会場	30名	会員・一般(85名)
		餅つき大会	12月17日	日暮会場	15名	会員・一般(82名)
		トラストサロン(講演会)	2月11日	けやきプラザ	5名	会員(27名)
		トラストサロン(落語会)	2月19日	けやきプラザ	5名	会員(25名)
		消費生活展	2月4日、5日	市民プラザ	9名	会員・一般(多数)
		事務局グループ	安全管理委員会	4月24日	けやきプラザ	2名
	定例理事会(10回開催)		毎月、最終日曜日	けやきプラザ	2名	会員(10名)
	通常総会		5月29日	けやきプラザ	5名	会員(46名)
	会報編集・校正・発送		毎月1日発行	会員自宅ほか	3名	会員・一般(200名)
		ホームページ運用・管理	通年	会員自宅ほか	3名	会員・不特定多数
	フェイスブック運用・管理	通年	会員自宅ほか	2名	会員・不特定多数	